

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-35℃～ +85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)		
	使用湿度範囲 [△]	40%～ 80% (注2)	保存湿度範囲 [△]	40%～ 70% (注3)		
	電 圧	AC/DC 250V				
	電 流	3A/pin				
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100mA (DC又は 1000 Hz)で測定する。	30 mΩ以下	○	—	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—	
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—	
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間サイクル試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		○	—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	温度サイクル [△]	温度 -55 → +15~+35 → +85 → +15~+35℃ 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5 サイクル 試験する。 (室温に1~2時間放置後測定)		○	—	
	はんだ耐熱性 [△]	【はんだ槽法の場合】 はんだ温度 250±5 ℃ 浸漬時間 10秒間のはんだ付けを行う。 【手はんだの場合】 はんだごて温度 300℃, 3秒の条件にて はんだ付けを行う。 但し、端子に力は加えないこと。		機能を損なうような、外觀の変形及び 端子等に著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 230±5 ℃, 浸漬時間 5 秒間の はんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだ でぬれていること。	○	—
備考						
(注1) 通電時の温度上昇を含む。						
(注2) 結露のないこと。 [△]						
(注3) 未使用品の梱包状態に適用。 [△]						
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
[△]	6	DIS-H-00019118	RI. GENDA	SZ. ONO	20230912	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JISC5402)を適用している。			承認	KJ. KATAYOSE	20050105	
			検 図	TY. OMA	20050105	
			担 当	TS. KUMAZAWA	20050105	
			製 図	TS. KUMAZAWA	20050105	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC-162342-05-03		
HRS	製品規格表		製品名	DF1-*P-2.5DSA (05)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL541-	[△] 1/1	